

3D対応フルHD プロジェクターオプトマ HD83S1

熱いご要望に応じて緊急デビュー決定!!

株式会社オーエスプラス e (本社：東京、代表：奥村正之) は、DLP 方式のホームユースプロジェクター、オプトマ HD83S1 を、12月1日より新発売いたします。オプトマ HD シリーズはホームシアタープロジェクターとして、世界中で愛用されるシリーズです。今回発売する HD83S1 は、1080P フルハイビジョンの 3D 対応プロジェクターで、11月21日に発表いたしました HD33S1 の上位機種となります。HD33S1 の高画質に、さらにレンズシフトやカラーマネジメントシステムなどの高機能を加えた HD83S1 は、2009年発売のフルHD プロジェクターHD82 の後継機種を待ち望む、DLP プロジェクターの根強いファンの声を受け、市場投入を決定いたしました。

HD83S1 の 3D 用同期システムは全く新しい方式の DLP Link です。超高速イメージング DLP チップは、左目用と右目用の画像を交互に投影しながら、左右のフレーム (画像) 間に DLP Link による映像を送り、アクティブグラス(3D 眼鏡)と同期します。この独創的な方法により、メガネに同期信号を送る発信器 (エミッター) が不要になります。エミッターは通常外部設置を必要としますが、映像に同期信号を載せる DLP Link はエミッター不要で設置の手間が省け、時間とコストが節約できます。またクロストークと呼ばれる左右画像の重なりによる、ゴーストのような現象もほとんど感じない明るい映像が得られます。

HD83S1 は HD33S1 の映像コントロールシステム BrilliantColor™、PureEngine に加え、Dynamic Black や SMC (カラーマネジメントシステム) など HD82 で培われたテクノロジーを搭載、より一層の細やかな調整を可能にしました。コントラスト比 50,000:1 の映像はさらに奥行き感のある鮮明な映像を映し出します。また HD83S1 には上下左右のレンズシフトも搭載、PureShift と併せ、画質を落とさずにセッティングの幅が広がります。

映画館のデジタルシネマで映像のすばらしさが定評の DLP 方式。その映画館の画質をそのままに、手の届く価格を実現した、ホーム用フルハイビジョンプロジェクターHD83S1。ピュアブラックの重厚なボディは 3D 時代を身近にするプロジェクターです。

商品名:オプトマ フルハイビジョン 3D 対応ホームプロジェクター HD83S1

希望小売価格: オープン

市場想定価格: 40 万円前後

発売予定日 2011年12月1日(木)

専用アクティブグラス ZD201:

疲れにくい快適なフィット感



《HD83 の主な特長》

- フルハイビジョン DLP 方式、3D 対応
- 1600 ルーメン (UHP ランプ 280W)、コントラスト比 50000:1
- 3D アクティブグラス標準付属 (DLP Link 専用)
- 外付けエミッター不要の DLP Link 採用 (赤外線 3D 通信機能への切り替え端子も装備)
- クロストークのほとんど生じない 3D 映像
- 上下左右レンズシフト
- 1.5×zoom レンズによる長焦点投写が可能
- 画面微調整に有効な V イメージシフト搭載
- BrilliantColor™テクノロジー採用、3 原色+3 色の補色による繊細な色彩再現
- より繊細な画像調整を可能にした Pure Engine
 - PureDetail/画像のエッジを強調し、細部をくっきり表現
 - PureColor/新しいカラーアルゴリズムとエンハンストを採用、映像の鮮明さを大幅にアップ
 - PureMotion/自然な動きを損なわないアルゴリズム採用
 - PureEngine Demo/処理されていない画面との比較を容易に行え、簡単な調整確認が可能
- 25dB の低騒音(ノーマルモード：標準時)
- DynamicBlack、CMS など新しい映像調整技術を搭載

《外付けエミッター(発信器)不要の DLP Link》

超高速イメージングチップ DLP は、交互に二つの画面(右目用、左目用)を投写します。そして画像のフレームとフレームの間に、アクティブグラスへの追加信号を送り出し、奥行のある 3D 映像を結像します。一般の 3D プロジェクターは、エミッターと言われるメガネへの発信器が必要ですが、HD83S1 はエミッターが不要で、セッティングの煩わしさも、コストも無用になります。

※3D 映像を楽しむためには、専用アクティブグラス(DLP Link)が必要です。(HD83S1 は標準装備)

《視聴位置の自由な DLP Link》

一般的に 3D に使用される赤外線 (IR) エミッターは、なるべく画面センターに位置する事が好ましいなど、視聴ポジションに制約があり、また頭を動かす事も同期に影響がある場合があります。

HD83S1 は 3D アクティブグラスへのシャッター切替信号を送出する際に、DLP Link を採用し映像そのものに信号を付加し発信するため、赤外線方式と異なり、視聴ポジションの制約を受けることが少なくなります。また IR 干渉により他の機器へ動作不具合を生じさせる事ありません。

《クロストークやカラーブレイキングノイズ(レインボー)を感じない HD83S1》

クロストークとは 3D 映像を見る際に、両目の映像を交互に高速で画面に映し出すため、瞬間的に残像のような二重映像が見えることを言います。HD83S1 は最大 120Hz という高速の 3D 信号を、それよりもさらに高速で回転する 6 倍速カラーホイールで追従し、クロストークを極限まで低減する素晴らしい映像を映し出すと共に、2D・3D ともにカラーブレイキングノイズを低減しました。

《BrilliantColor》

ブリリアントカラー・テクノロジーは新しい色彩処理アルゴリズムおよび、カラーホイールの基本3色（R/G/B）に補色3色（C/M/Y）を加えた色の組み合わせにより中間色の再現が飛躍的に向上し、さらに高い輝度の画像を実現します。

《DynamicBlack》

暗いシーンのディテールを鮮明に表現し、明るいシーンではくっきり奥行き感のある映像を見せる新しい機能。オートアイリスに比べ反応速度が速く、コントラストダイナミックレンジを広げ、驚異のコントラスト比 50000:1 を実現しました。プリセットされた3モードから選択可能です。

※3D が ON の時には DynamicBlack 機能は無効になります。

《CMS(カラーマネジメントシステム)》

画面上で色範囲（Gamut）を R/G/B/C/M/Y の個々に調整可能。X/Y オフセットと Brightness を加味しユーザーの好みの調整を可能にする機能です。

《バックアップリモートコントローラー》

オン/オフ、ソース切り替え、メニューなど必要な機能に絞り、リモコンのバックアップとして、HD83S1 本体の底面にマグネットにより取り付けられるカード型小型リモコンを標準装備しています。



《HD83S1 の主な仕様》

型式	HD83S1
希望小売価格(税込)	オープン
本体カラー	ピュアブラック
投写方式	単板 DLP™方式
表示素子※1	0.65 型 1080p (1920×1080) DMD™パネル
アスペクト比※2	16:9、4:3、LBX、ネイティブ
明るさ(輝度)	1600 ルーメン
コントラスト	50,000:1
投写レンズ	1.5 倍マニュアルズーム/マニュアルフォーカス
使用ランプ	280W ランプ(ユーザー交換可能)
ランプ寿命	4000 時間 (ノーマルモード) / 3000 時間 (ブライトモード)
投写距離(16:9)	1.5m(30 型) ~ 12.5 m (302 型)
キーストン補正	±5%(垂直)
ビデオ対応信号	HDTV (480P, 576P, 720P, 1080i/p)、480i, 576i, FULL NTSC、NTSC4.43、PAL, PAL-M, PAL-N, SECAM, HDMI (480i/p, 576i/p, 720p, 1080i/p)
コンピューター信号	Up to UXGA (1600×1200)
入力端子	HDMI×2 (HDMI1.4a, 3D フォーマット準拠)、VGA×1、コンポーネント×1、コンポジットビデオ×1、USB×1、VESA 3D port×1
トリガー出力	+12V
コントロール端子	RS-232
騒音値	25 dB (ノーマルモード)
電源	AC 100V~240V ; 50/60 Hz
消費電力	395W (ブライトモード) / 335W (ノーマルモード) / 0.5W 以下 (待機時)
外形寸法 (突起部含まず)	370.9 (W) × 498.6 (D) × 199.0 (H) mm
製品質量	8.4 kg
付属品	アクティブグラス(3D 眼鏡×1)、電源ケーブル、リモートコントローラー、バックアップリモートコントローラー、レンズキャップ、単 3 電池 2 本、ボタン電池、バックアップリモートバッテリー、ノーズキャップ、ユーザーズマニュアル、保証書、クイックスタートガイド

※1 DMD/DLP テクノロジーの中核をなす半導体、デジタル・マイクロミラー・デバイス。半導体上に可動する極小のミラーが HD83S1 (1920×1080) の場合 207 万個以上敷き詰められ、1 秒間に数千回というスピードで切り替えられて、ミラーに当たった光を反射して画像を再現する。※2 アスペクト比/画面の横と縦の比率。※DLP™、DMD™、DLPLink はテキサスインスツルメンツ社の登録商標です。※SVGA、XGA、WXGA™は IBM corp.の登録商標です。

オプトマ社 Optoma corporation

1992 年創業。高品質な光学機器メーカーとして、欧米で OEM をはじめとした大きな実績を上げ、1999 年には米 TI 社が開発した DLP テクノロジーを採用、世界で初めて重量 5kg を切る DLP プロジェクターを開発。DLP プロジェクターにおいて、世界トップクラスのシェアを確立。2008 年 12 月発表の PK101 は大きな話題を呼び、ポケットプロジェクターという新しい市場を開拓。HD シリーズは、ホームシアター向けとしての映像作りに高い評価を得ている。

《本件に関するお問い合わせ》

株式会社オーエスプラス e 本社：〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18
コンタクトセンター
電話：フリーダイヤル 0120-380-495 FAX：フリーダイヤル 0120-380-496
E-mail info@os-worldwide.com

《本ニュースに関するお問合せ先・ニュース発信者》

株式会社オーエス 本部：〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18
マーケティンググループ 藤枝 昭
TEL.03-3629-5356 FAX.03-3629-5187 E-mail a.fujieda@os-worldwide.com

株式会社オーエスプラス e 会社概要

名称：株式会社オーエスプラス e

本社：東京都足立区綾瀬 3-25-18

創業：2000年10月

資本金：1000万円

代表者：代表取締役 奥村正之

事業内容：

2000年10月12日創業以来、日本市場に「家庭で映画を」と言う、ホームシアター文化を提案・構築。社名変更を機に、ホームシアターに留まらず、更に映像文化に関する幅広い取り組みを推進し、業績拡大を目指す。オーエスグループの中でも、最もエンドユーザーに近い企業として、グループ全体のスローガンである「キモチをカタチに」の実現を目指す。

《株オーエスプラス e 関連企業》

株式会社オーエスエム 本社：兵庫県宍粟市 <http://jp.os-worldwide.com/osm/>

株式会社オーエス沖縄黒板 本社：沖縄県中頭郡 <http://jp.os-worldwide.com/osb/>

OSI CO., LTD. (Hong Kong) <http://hk.os-worldwide.com/>

喜摩租賃(北京)有限公司：中華人民共和国

《日本総販売代理店》

OPTOMA 社(台湾)／世界初のポケットプロジェクターを発表した DLP プロジェクターメーカー

Vogel's 社 (オランダ) ／フラットディスプレイなどのスタイリッシュハンガーメーカー

SCREEN RESEARCH 社 (イタリア) ／ THX、ISF 公認のサウンドスクリーンメーカー

AV Stumpfl (オーストラリア) ／画像処理技術で世界的に定評あるメーカー

EASTONE 社(日本)／国産唯一の THX 認定スクリーン、eco スクリーンを開発する国内メーカー